



特定非営利活動法人 日本オゾン協会

第27回年次研究講演会のご案内

主催 特定非営利活動法人日本オゾン協会
後援 広島大学、日本医療・環境オゾン学会

開催日時 2018年6月21日(木)、22日(金)

- 年次研究講演会(学生会館2階「レセプションホール」) 6月21日(木) 9:55~16:40
6月22日(金) 9:00~15:50
- 意見交換会(学生会館1階「ラ・ボエーム」) 6月21日(木) 17:20~19:20

会場 広島大学 東広島キャンパス 広島大学学生会館2階 レセプションホール
(〒739-8513 広島県東広島市鏡山1-5-3)

アクセス: ■広島空港をご利用の方

❖広島空港→(西条エポータリムゾーン)→JR西条駅→(広島大学行バス)→バス停『広大中央口』下車

❖広島空港→(JR白市駅行バス)→JR白市駅→(JR山陽本線)→JR西条駅→(広島大学行バス)→バス停『広大中央口』下車

■山陽新幹線をご利用の方

❖JR東広島駅→(広島大学行バス*)→バス停『広大中央口』下車

*平日のみ1日4便運行、タクシー利用の場合は約15分、約2,000円

※アクセス詳細およびキャンパス内地図につきましては広島大学ウェブサイト<http://www.hiroshima-u.ac.jp/>にてご確認ください。

※キャンパスが大変広いので、キャンパス周辺にはバス停が沢山あります。学生会館最寄は『広大中央口』です。ご注意ください。

参加費 下記参加費払込期限までに**ご入金**いただけない場合、割引料金は適用になりません。

参加費払込期限	会員(10A会員含む)および 公共機関・教育機関	非会員	学生 (要学生証 [※] 添付)
2018年5月14日(月)まで	17,000円	21,000円	2,000円
2018年5月15日(火)以降	19,000円	24,000円	3,000円

別途:意見交換会参加費 6,000円/1名

取消料:2018年6月1日(金)までの参加取消50%

募集人数 講演会 150名 意見交換会 80名

申込方法 第21回より、参加申込先は日本旅行へ変更となりました。参加登録専用ウェブサイトがありますのでそちらからお申込下さい。URL:https://va.apollon.nta.co.jp/27th_ozone-jr/

日本旅行専用サイトへは、協会ウェブサイトからもリンクしております。(http://www.j-ozone.org/) オンラインでの登録が困難な方は本案内書最終頁の参加申込書を日本旅行へご提出下さい。

登録方法(画面操作など)のご不明点につきましては直接日本旅行へお問い合わせ下さい。問合せ先は上記日本旅行のウェブサイト内にあります。

参加申込期限 2018年6月11日(月) 必着

主催・問合せ先

特定非営利活動法人日本オゾン協会 事務局 (担当:西島、廣辻)
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ301

TEL:03(6661)1622、FAX:03(6661)1623

E-mail joa@mwd.biglobe.ne.jp URL <http://www.j-ozone.org/>

6月21日(木)

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

9:55 - 10:00 開会挨拶		日本オゾン協会 会長 眞柄泰基
10:00 - 10:45 I. オゾン発生装置・反応器 (I) 3編		座長: 田口正樹
1	オゾン発生シミュレーション (2) 空気原料の特性	(株)東芝 東芝インフラシステムズ(株) ○村田隆昭 久保貴恵、沖田裕二
2	LEDによる光吸収を用いた誘電体バリア放電型オゾン発生器内部のオゾン数密度測定	徳島大学 千葉工業大学 ○松本和也、中山佳樹、寺西研二、 下村直行 伊藤晴雄
3	ナノ秒パルスパワーによる同軸リアクタを用いたオゾン生成の高濃度化に関する研究	徳島大学 ○讃岐佳文、内海祐基、寺西研二、 下村直行
10:45 - 11:30 II. オゾン発生装置・反応器 (II) 3編		座長: 寺西研二
4	プラズマアクチュエータから誘起される流れの特性とオゾン濃度の関係	首都大学東京 ○小方聡、松村圭祐
5	タンデム接続したオゾン発生器の特性 (その2)	メタウォーター(株) ○田口正樹、加藤康弘
6	極短ギャップ放電における酸素原子密度の直接分光計測	首都大学東京 ○中川雄介、川北拓弥、内田諭、 朽久保文嘉
11:30 - 11:55 III. ポスター発表 5編		座長: 寺西研二
P-1	ゼオライトを組み込んだ促進酸化処理による水中微量有害有機物の分解性能評価	関西大学環境都市工学部 ○秋元優志、山本秀樹
P-2	プラズマ・ケミカル複合半乾式NO _x ・SO _x 同時除去に及ぼす液ガス比の影響	大阪府立大学 日本山村硝子(株) 金沢工業大学 ○山本翔也、藤島英勝、黒木智之、 大久保雅章 山本柱
P-3	パルス変調空気バリア放電によるオゾン生成・放電部温度特性	金沢工業大学 ○大澤直樹、熱田大、土佐光司
P-4	オゾン・浸漬膜による膜ろ過システムの淀川への適用性について	水ing(株) ○山本崇史、萩原一穂、貝谷吉英、 林益啓
P-5	オゾンファインバブルを用いた有機物分解の促進	高知工業高等専門学校専攻科物質工学専攻 高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 ○山脇直也、刈谷未来、岡嶋里歩、 石崎貴大 西内悠祐、秦隆志
11:55 ~ 13:15 昼休み		
13:15 - 14:00 IV. オゾン発生装置・反応器 (III) 3編		座長: 堤行彦
7	燃費改善に向けた車載用オゾナイザシステムの開発	三菱電機(株) ○井上貴裕、民田太一郎、橋本隆、 和田昇、中川光、坂下友一、和田浩司、 本田哲也
8	オゾンを用いたバイオガス発電排ガスのNO _x 処理	多田電機(株) (株)公害防止機器研究所 大阪府立大学大学院 大分大学 ○山内四郎、福井秀樹、中峠美華 浅野真、谷口修一 安田昌弘
9	放電プラズマを用いた水処理における流体制御の効果	○花畑良輔、古木貴志、赤峰修一、 市来龍大、金澤誠司
14:00 - 15:15 V. 浄水 5編		座長: 加藤康弘
10	オゾン処理設備の更新に向けた既存接触槽への高濃度オゾン発生器の導入可能性調査	阪神水道企業団 ○小椋和生、用害良徳、瀧野博之
11	オゾン接触池散気装置の定量的評価方法について	東京都水道局 ○須賀慎一、金子誠司、上原城児、 堀川博哉、青木秀幸
12	淀川原水を用いたオゾン・セラミック膜ろ過技術の研究 (II)	メタウォーター(株) ○村田直樹、山口太秀、青木伸浩、 本山信行
13	高度浄水処理施設の維持管理に係る技術者育成	東京水道サービス(株) ○白井誠、内田栄一、後藤一男、 松浦聡一郎
14	オゾン水中で形成されたステンレス鋼の皮膜組成に及ぼす自然電位の影響	新日鐵住金ステンレス(株) ○吉見敏彦、石丸詠一朗、阿部雅之、 西村敏和
15:15 - 15:25 IOA活動報告		司会: 廣辻淳二
◆	International Ozone Association Pan American Group 活動報告	International Ozone Association - PAG University of California, Riverside ○池端慶祐
15:30 - 16:10 特別講演		司会: 廣辻淳二
ウルトラファインバブルを用いたオゾン処理の新展開 - 汚泥減容化処理への適用 -		広島大学環境安全センター 教授 西嶋渉
16:20 - 16:40 第25回表彰式 (年次研究講演会と同会場)		
16:50 - 17:10 日本オゾン協会 第17回総会 (協会会員のみ、会議室1)		
17:20 - 19:20 意見交換会 (学士会館1階 レストラン「ラ・ボエーム」)		

6月22日（金）

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

9:00 - 10:15 VI. 促進酸化処理 5編			座長：小坂浩司
15	オゾンと金属を併用した促進酸化法による有機酸の分解	大阪産業大学 大阪産業大学大学院 京都大学大学院 京都大学（名誉教授）	○陳冰子、濱崎竜英 陳允麒 水野忠雄 津野洋
16	オゾン/過酸化水素処理による尿酸分解工程における副生成物と無機化の検証	大阪産業大学大学院 大阪産業大学 京都大学大学院 京都大学（名誉教授）	○陳允麒 濱崎竜英、谷口省吾 水野忠雄 津野洋
17	過酸化水素多段添加によるオゾン促進酸化法の有機酸の分解	大阪産業大学 大阪産業大学大学院 京都大学大学院 京都大学（名誉教授）	○李程、濱崎竜英 陳允麒 水野忠雄 津野洋
18	下水生物学的処理水中浮遊物質が与える有機物除去速度の影響	大阪産業大学 大阪産業大学大学院 京都大学大学院 京都大学（名誉教授）	○濱崎竜英、藤井信輔 陳允麒 水野忠雄 津野洋
19	霞ヶ浦を原水とした促進酸化処理の夏期における処理特性	茨城県企業局 （公財）茨城県企業公社	○高谷駿介、柴雅彦、石崎孝幸、仲田隆 大内信人
10:15 - 11:30 VII. 促進酸化処理・反応機構 5編			座長：西村文武
20	水中酸素気泡内プラズマを用いた促進酸化処理におけるオゾンの有効利用	国立研究開発法人産業技術総合研究所 東京工業大学	○竹内希、金賢夏 石橋直人
21	過酸化水素連続注入方式を用いたオゾン促進酸化処理の反応について	京都大学大学院	○米津直紀、水野忠雄、西村文武
22	浄水処理における促進酸化処理の機能	国立保健医療科学院 （株）日水コン 京都大学大学院工学研究科	○越後信哉 今井謙一郎 伊藤禎彦
23	イミダゾリウム系イオン液体とオゾンとの反応機構（Ⅱ）	岡山大学大学院環境生命科学研究科 ミシガン工科大学 京都大学大学院工学研究科 愛媛大学大学院連合農学研究科 高知大学教育研究部自然科学系農学部門	○永禮英明 南方大輔 水野忠雄 野村洋平 藤原拓
24	オゾン/生物活性炭処理によるハロアセトアミド生成能の低減	京都大学 神奈川県企業庁 愛知県企業庁 川崎市上下水道局 国立保健医療科学院	○小坂浩司 岩谷梓 武市裕貴 吉川雄介 大久保慶子、秋葉道宏
11:30 ~ 13:00 昼休み			
13:00 - 14:15 VIII. 下水・汚泥処理 5編			座長：大瀧雅寛
25	膜分離バイオリアクタにおけるオゾン水膜洗浄技術の開発	三菱電機(株)	○林佳史、今村英二、野田清治
26	下水処理場の機能向上のためのオゾン処理（その2）	メタウォーター(株) 京都大学	○福嶋俊貴 日高平、西村文武、水野忠雄
27	消化ガス増量を目的とした下水汚泥の可溶化に対するオゾン/過酸化水素による促進酸化処理の適用	(株)東芝 東芝インフラシステムズ(株) 日之出水道機器(株) (株)アクア環境ソリューションズ	○永森泰彦、茂庭忍、小原卓巳 木内智明 加治木博明 中野聡
28	下水汚泥のメタン発酵特性に及ぼす汚泥のオゾン処理の効果	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻	○西村文武、翁沁玉、日高平、水野忠雄
29	余剰汚泥のオゾンウルトラファインバブル処理におよぼす溶存有機物質の影響	広島大学環境安全センター 広島大学大学院工学研究科 西日本高速道路(株)	○橋本くるみ、西嶋渉 圓島徹 志田裕昭
14:15 - 15:00 IX. 消毒（Ⅰ） 3編			座長：越後信哉
30	被災下水処理場での暫定処理水のオゾン消毒効果	京都大学大学院工学研究科	○朴耿洙、朴仁久、山下尚之、田中宏明
31	オゾン溶解水による病原性大腸菌およびウイルスの不活化効果	お茶の水女子大学 東京大学	○大瀧雅寛 風間しのぶ
32	オゾン水による野菜の洗浄効果	静岡県立大学食品栄養科学部環境生命科学科	○野木菜々子、内藤博敬、谷幸則
15:00 - 15:45 X. 消毒（Ⅱ） 3編			座長：水野忠雄
33	オゾン水の消毒効果評価法について	静岡県立大学食品栄養科学部環境生命科学科 静岡県環境衛生科学研究所医薬食品部食品班	○内藤博敬、野木菜々子、谷幸則 辻むつみ
34	オゾン水処理によるブラックマッペ種子の発芽促進メカニズム	摂南大学理工学部生命科学科 近畿厚生局	○中室克彦、関尾知嗣、鐵見雅弘、 岩田和佳 平原嘉親
35	オゾン水に関する最近の研究動向と展望	デノラ・ペルメレック(株)	○錦善則
15:45 - 15:50 閉会挨拶			日本オゾン協会 副会長・学術公益部会長 大瀧雅寛